

平成29年度にぎやか会事業報告

平成29年度、事業面においては、ポプリンのもう1か所の施設整備計画について、協議していました民間助成が平成29年度、30年度分と続けて不採択となり、次年度以降への課題となりました。ポプリンだけでなく圏域においても生活介護事業所が不足している現状の中、早期の整備実現が望まれています。

法人運営においては、平成29年度の社会福祉法人制度改革により、新しい制度の下での評議員の選任や定款変更等を進めました。今後、改革の趣旨に沿った法人の組織づくりと事業の推進に取り組んでいくこととなります。

(1) 地域福祉の確保

①関係者とともに将来構想を検討し、地域のニーズに応えるサービスを創出する。

・日中活動の場の充実・発展

守山市において、新規生活介護事業所の施設整備計画を進めましたが、JK A助成金については、平成29年度分に続いて、不採択となり平成30年度以降の準備を進めることとなりました。

建設用地の準備と利用者の受け入れのための仮活動場所の検討を行いました。

②法人広報やホームページにより、関係者、関係機関、地域に、法人情報を広く公開しました。

③各事業においてボランティアの受け入れ、地域行事への参加により、地域交流を進めました。

④法人内の事業所利用者の作品による「とっておき作品展」を開催し、家族や関係者、地域の方等多くの方にご来場いただきました。

⑤法人20周年記念事業を開催し、今までの歩みを振り返るとともに、これからの夢（将来構想）を語り合える場として、地域、関係者が交流を図った。

(2) 事業（サービス）水準の向上

①事業の連携・交流のため、職員の事業間の異動、応援体制を実施しました。

②職員の資質向上のため、研修の機会を充実しました。

③必要な資格取得のためサービス管理責任者講習に2名、行動援護従事者、同行援護従事者研修等に参加しました。

④自己申告書による職員の面談、勤務評価を継続し、人材育成の機会としました。

また、職員提案により、職員の意見を取り入れた改善の実施を検討しました。

⑤サービス自己評価を実施し、改善計画の実現に向けて検討しました。

(3) 利用者中心のサービスの確保

①倫理綱領、健康管理等のマニュアルについては、それぞれ委員会等で協議しましたが、継続検討となりました。

②各事業において、創作活動を充実させるとともに、発表の場として作品展を開催しました。

③人権、虐待防止研修に取り組みました。

④相談支援事業所において聞き取った個別ニーズや要望の共有に努めました。

(4) 安全管理の徹底

①法人全体の安全・衛生管理、防災、危機管理のマニュアルについては明確になっていないところもあり、検討課題となりました。

②事故報告等をもとに、交通安全等、職員としての安全管理の指導に努めました。

(5) 健全経営の確保

①所長・管理者会議を開催し、各事業の課題解決や情報交換の機会にしました。

②社会福祉法人制度改革に対応し、財務諸表の公表、評議員の選任や定款変更等を実施しました。

法人運営のルールや意思決定の明確化については、検討課題となりました。

③各事業利用状況、利用料収入の確認、分析を継続しました。

④中長期の財政計画については、検討課題となりましたが、助成金の活用により、車両整備、備品購入等ができました。（にぎやか塾、にぎやか工房、あおぞら）

⑤勤労手当の増額、介護職員処遇改善手当の支給を継続しました。